

議事概要書

会議名称	令和7年度 第2回社会教育委員会議（臨時会）
日 時	令和7年8月29日（金）会議：午後1時10分～午後2時30分 視察：午後2時40分～午後5時00分
場 所	会議：伊那市役所 501会議室 ／ 観察：東春近地区・富県地区
出席者	伊那市社会教育委員：10名（欠席なし） 事務局：教育長、教育次長、生涯学習課長、生涯学習文化振興係長・係員
議 領	下記のとおり
議事内容	
1 開会（教育次長）	
2 あいさつ（教育長、会長）	
3 会議事項（進行：会長）	
(1) 第2次伊那市生涯学習基本構想進行管理について	
(資料に沿って生涯学習文化振興係長から説明)	
<質疑・意見等>	
委員：「KPI評価」という用語が出てきたが、「KPI」とはどのような意味か。	
事務局：「Key Performance Indicator（重要業績評価指標）」の略で、目標の達成状況や進捗状況を評価する鍵となる指標のこと。	
委員：二点聞きたい。一点目に、進行管理シート「基本計画②スポーツ・レクリエーション活動の推進」の「市民体育祭参加者数」について、ここ数年の値が記載されているが、目標値と達成率に乖離がある。この項目だけではないが、目標値はより現実的な、実績に基づいた値にしたほうが良いのではないか。	
事務局：目標値については各担当課に作成を依頼しているが、新型コロナウイルス感染症による影響などの社会情勢も鑑み、作成年度ごとに見直し、時には下方修正も必要と考える。ご指摘を踏まえ後期計画を作成していく。	
委員：二点目に、施策大綱（2）「歴史・文化の継承」とあるが、伊那の歴史的なことを、伊那の小学生がもっと知るべきではないかと思う。学校教育課との関連もあり難しいかもしれないが、そのあたりも盛り込んでもらいたい。	
事務局：学校教育課では郷土学習として「わたしたちのふるさと」という副読本を小学生に配布している。そちらに掲載してもらえるよう伝えていく。	
(2) 生涯学習基本構想後期計画の策定について	
(資料に沿って係員から説明)	
<質疑・意見等>	
委員：市民意識調査（アンケート）の回答率はどの程度か。	

事務局：市内在住16歳以上を対象とした調査は、回答率35%（回答者約350人）。市内中学2年生を対象とした調査は、回答率75%（回答者約500～600人）となっている。

委員：アンケートの内容はおおまかにどのようなものか。

事務局：「今の生涯学習の状況について」「市の生涯学習施設の利用状況について（新設）」「今後の生涯学習への希望」の大きく3つの設問に分かれ、全20問程度。

委員：先ほど前期計画の評価について説明があったが、後期計画も同様に進めていくという認識でよいか。

事務局：前期計画から大きく2点変更がある。前期計画では一部の事業のみKPIが設定されていたが、今は全てに設定するのが一般的であるため、後期計画では各事業にKPIを設定する。また、前期計画では施策大綱が分野ごとに定められていたが、生涯学習は生涯にわたっての活動となるため、各年代・ライフステージごとに方針があった方が市民の皆さんにイメージしやすいのではという意見があった。したがって、後期計画はライフステージ別の施策大綱に、ライフステージでは分けられない分野（生涯学習施設や多文化共生等）を加え、大きく3つに分けた策定を予定している。

委員：資料では生涯学習について、「自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう…」とあり、立派な理念だが実際に実現するための指標を作るのは大変なことだと思う。
頑張っていただきたい。

（3）令和7年度社会教育委員の実践活動について

イベント等参加報告、地域の話題（各委員から報告）

- ・第3回クラシック音楽の祭典「メサイア」
- ・高遠町桜大学第2講座 映画「先祖になる」上映会&トーク
- ・第1回宇宙の学校
- ・西春近公民館おいで塾

＜感想・意見等＞

委員：皆さん様々なイベントにアンテナを張り巡らせており、情報を掴むことも大事だと思った。

委員：おいで塾について、私の地区のおいで塾でも多くの高校生にボランティアスタッフをやってもらっている。中高生は公民館活動への参加が減っていく年代でもあるので、積極的に声をかけて手伝ってもらうのは良いことだと思う。

委員：私の地区のおいで塾でも、高校生が授業の一環としてスタッフに入ってくれて助かった。
参加者は年々増えており、公民館やスタッフの負担が大きくなっていると感じる。

委員：私の地区の場合、地域の人のお手伝いはあるが、中高生の参加は無い。どうやって声をかけているのか教えてもらいたい。

各委員：近隣の高校に声をかける、おいで塾の卒業生に声をかける等。その他、伊那公民館では市の新規採用職員が研修の一環で参加している。

委員：おいで塾の対象は小学生だが、高齢者や中高生など多世代がスタッフとして一緒に活動しており、一つの社会教育となっていると思う。
また、余談となるが、高遠の「進徳館の日」では論語の素読を行っている。先日岡潔氏の隨

筆を読んでいたところ、「論語の素読はその時意味が分からなくても、記憶に残り、大人になつてから意味が分かるという点で素晴らしいものである」と書かれていた。高遠から発信したい取り組みの一つである。

<その他、地域の話題について>

委 員：先週、長谷中尾で「棚田まつり」が開催された。中尾地区で無農薬の米作りを行っている農業法人Wakka Agriの主催で、100人ほど参加し、田楽座協力の下盆踊りをやるなどした。皆さんから中高生の参画について話題が出たが、棚田まつりでは長谷中OB・OGの高校生が企画・運営し、大人も子どもも参加できる尻相撲大会を開催してくれた。

(4) その他

- ・「社会教育委員発！我がまちのいいとこ10選」研修視察について
視察先 東春近地区 老松場の丘・古墳公園
富県地区 春富水力発電所

4 その他

5 閉会（副会長）